



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月11日

上場会社名 株式会社オークネット 上場取引所 東
 コード番号 3964 URL https://www.aucnet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長C00 (氏名) 藤崎 慎一郎
 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 谷口 博樹 (TEL) 03(6440)2552
 問合せ先責任者 コーポレート部門DM
 四半期報告書提出予定日 2021年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	9,268	65.8	1,808	59.1	2,017	70.4	1,277	76.7
2020年12月期第1四半期	5,591	14.8	1,136	34.1	1,184	29.6	723	50.0

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 1,412百万円 (112.0%) 2020年12月期第1四半期 666百万円 (35.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	46.11	45.73
2020年12月期第1四半期	26.17	25.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	37,772	20,744	54.0
2020年12月期	33,280	19,637	58.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 20,413百万円 2020年12月期 19,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,351	42.7	4,496	21.3	4,558	25.1	2,516	32.7	90.63

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	27,864,700株	2020年12月期	27,863,500株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	147,316株	2020年12月期	147,316株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	27,716,304株	2020年12月期1Q	27,624,201株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による2度目の緊急事態宣言の発出と、それに伴う経済活動の自粛要請等により、厳しい状況が長く続きました。感染再拡大の抑制と経済活動のレベルを引き上げていくことで、持ち直しの動きが期待されるなか、3度目の緊急事態宣言が発出され、依然として先行きは不透明であります。このような状況のなか、当社は、「あしたの流通を創造する」をブランドステートメントと掲げ、BtoBビジネスに係る仲介を行う情報流通のみならず、競争力のある付加価値を伴った商品及びサービスを提供する情報流通のための施策を推進し、社会的価値、経済的価値の更なる向上に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は9,268,410千円（前年同期比65.8%増）、営業利益は1,808,852千円（前年同期比59.1%増）、経常利益は2,017,702千円（前年同期比70.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,277,981千円（前年同期比76.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

前連結会計年度より、ブランド品オークション等の事業規模拡大に伴いセグメントを変更しております。従来、ブランド品、中古バイク及び花きのオークション事業で構成されていた「その他情報流通事業」セグメントを廃止し、ブランド品オークション事業を新設の「コンシューマープロダクツ事業」セグメントに、中古バイク及び花きのオークション事業を従来の「その他」セグメントへ集約しています。

以下の前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較していません。

(四輪事業)

当事業は、中古車オークション（※1）、共有在庫市場（※2）、ライブ中継オークション（※3）、落札代行サービス（※4）及び車両検査サービス（※5）等で構成されています。

当事業と関連の深い自動車業界では、当第1四半期連結累計期間の新車登録台数（※6）は、前年同期比4.2%増の142万台、中古車の登録台数（※7）は、同2.1%増の194万台、中古車オークション市場の出品台数（※8）は、同1.5%減の189万台、成約台数（※8）は、同5.3%増の128万台となりました。

中古車流通市場においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、人々の意識が密を避けられる車移動へとシフトしている傾向もあり、中古車需要が高まっております。こうした状況下にあつて、当社の中古車オークションでは、出品台数は市場の供給不足により前年同期を下回ったものの、引き合いは堅調であったことから成約台数は前年同期で微減にとどまり、成約率は前年を上回る結果となりました。同様な理由から、共有在庫市場における成約台数も増加となりました。また、ライブ中継オークション及び落札代行サービスでは、リモートによる参加ニーズの高まりが継続したことで、落札台数が前年同期を大きく上回りました。これらの堅調な結果から、オークション関連売上は前年同期比で7.9%増となりました。さらに、車両検査サービスにおいても、検査台数が堅調に推移したことに加え、月間で検査台数が10万台を超える等、業績の改善に貢献しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は（セグメント間の内部売上高を含む）3,097,895千円（前年同期比4.6%増）、営業利益は1,044,439千円（前年同期比12.7%増）となりました。

（※1）中古車オークションとは、当社が主催するオンラインで行う会員制のリアルタイムの中古車オークションのことです。

（※2）共有在庫市場とは、当社の会員ネットワークを活用し、会員が所有する中古車店頭在庫の情報を会員間で共有し取引する市場のことです。

（※3）ライブ中継オークションとは、当社が業者間取引の市場である現車オークション会場と提携し、現車オークション会場が主催するオークションを中継するサービスのことで。

（※4）落札代行サービスとは、株式会社アイオークが業者間取引の市場である現車オークション会場等に出品される中古車の落札・出品・決済・輸送の代行を行うサービスのことで。

（※5）車両検査サービスとは、株式会社AISが出品車両の検査及び車両検査技能に関する研修を行うサービスのことで。

（※6）一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料より

（※7）一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会の統計資料より

り
(※8) ユーストカー総合版+輸出相場版より

(デジタルプロダクツ事業)

当事業は、中古スマートフォン・中古PC等の中古デジタル機器のオークション及び流通に付随するサービスで構成されています。

国内事業では、在庫台数が増加したことや、従来から取り組んでいた海外バイヤー網の拡大によるバイイングパワーが増大したことで、前年同期と比較して売上高及び利益が大幅に増加しました。また、比較的高単価な端末の流通が増加したことで、利益率が前年同期を上回っております。さらに、中古PCオークションにおいても、昨年からのテレワークの広がりにより、中古流通市場が引き続き堅調に推移しました。

米国事業では、新型コロナウイルスの影響による経済活動の停滞が続いていますが、新規取引先の開拓等が奏功し、前年同期と比較して在庫台数の増加につながりました。引き続き、事業の安定化を実現すべく様々な施策に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,008,665千円（前年同期比17.8%増）、営業利益は1,105,483千円（前年同期比48.5%増）となりました。

(コンシューマープロダクツ事業)

当事業は、ブランド品のオークション及び消費者向けを含む流通に付随するサービスで構成されています。

業界的なオンラインオークションの需要の高まりや営業体制の強化によりオークションが活性化したことで、ブランド品オークションの取扱高が国内外ともに大幅に増加し、業績向上に貢献しました。加えて、昨年10月より株式会社ギャラリーレアを連結に加えたことで、売上高が前年同期比で大幅な増加となりました。一方で、株式会社ギャラリーレアの小売販売等のC向け事業が売上加わったことにより、利益率は相対的に低下しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,392,390千円（前年同期比1,142.8%増）、営業利益は309,456千円（前年同期比194.8%増）となりました。

(その他)

当事業は、中古バイク及び花きのオークション、医療関連事業及び海外事業等で構成されています。

当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む。）は898,956千円（前年同期比10.5%増）、営業損失は31,520千円（前年同期は営業損失45,481千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて4,491,334千円増加し、37,772,157千円となりました。これは主に、現金及び預金が3,549,758千円、受取手形及び売掛金が188,054千円、オークション貸勘定が1,039,600千円増加したものの、投資その他の資産が422,565千円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,384,876千円増加し、17,028,013千円となりました。これは主に、買掛金が78,497千円、オークション借勘定が3,631,988千円増加したものの、未払法人税等が385,887千円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,106,457千円増加し、20,744,143千円となりました。これは主に、利益剰余金が971,485千円、その他有価証券評価差額金が120,156千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2021年2月12日に公表いたしました数値を修正しております。詳細は、本日公表の「2021年12月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,776,386	20,326,145
受取手形及び売掛金	1,185,487	1,373,541
たな卸資産	1,774,274	1,728,156
オークション貸勘定	4,253,161	5,292,761
その他	1,935,683	2,095,432
貸倒引当金	△126,899	△47,131
流動資産合計	25,798,093	30,768,905
固定資産		
有形固定資産	1,575,973	1,659,348
無形固定資産		
のれん	790,350	760,362
その他	1,250,362	1,140,063
無形固定資産合計	2,040,713	1,900,426
投資その他の資産	3,866,043	3,443,477
固定資産合計	7,482,729	7,003,252
資産合計	33,280,823	37,772,157
負債の部		
流動負債		
買掛金	827,655	906,152
オークション借勘定	7,032,946	10,664,935
未払法人税等	1,032,073	646,186
その他の引当金	187,203	283,670
その他	1,586,028	1,505,419
流動負債合計	10,665,908	14,006,364
固定負債		
退職給付に係る負債	1,744,261	1,766,610
株式給付引当金	124,282	135,901
その他の引当金	20,508	9,155
その他	1,088,177	1,109,980
固定負債合計	2,977,229	3,021,649
負債合計	13,643,137	17,028,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,765,614	1,765,820
資本剰余金	6,815,614	6,815,821
利益剰余金	10,742,310	11,713,795
自己株式	△241,056	△241,056
株主資本合計	19,082,483	20,054,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,400	336,556
為替換算調整勘定	△5,002	△6,483
退職給付に係る調整累計額	30,333	28,615
その他の包括利益累計額合計	241,731	358,688
非支配株主持分	313,471	331,073
純資産合計	19,637,686	20,744,143
負債純資産合計	33,280,823	37,772,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	5,591,764	9,268,410
売上原価	2,393,914	4,902,781
売上総利益	3,197,850	4,365,629
販売費及び一般管理費	2,061,112	2,556,777
営業利益	1,136,737	1,808,852
営業外収益		
受取利息	17,163	748
受取配当金	7,178	6,090
持分法による投資利益	6,608	—
為替差益	14,254	162,839
貸倒引当金戻入額	—	30,505
その他	2,686	24,180
営業外収益合計	47,891	224,363
営業外費用		
支払利息	267	422
持分法による投資損失	—	14,835
その他	0	255
営業外費用合計	267	15,513
経常利益	1,184,361	2,017,702
特別利益		
投資有価証券売却益	—	88,889
特別利益合計	—	88,889
特別損失		
債権譲渡損	—	30,218
関係会社株式評価損	5,529	—
その他	—	475
特別損失合計	5,529	30,693
税金等調整前四半期純利益	1,178,832	2,075,897
法人税等	441,821	780,313
四半期純利益	737,010	1,295,583
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,954	17,602
親会社株主に帰属する四半期純利益	723,055	1,277,981

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
四半期純利益	737,010	1,295,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,431	120,156
為替換算調整勘定	△2,742	△1,480
退職給付に係る調整額	△2,530	△1,718
その他の包括利益合計	△70,705	116,957
四半期包括利益	666,305	1,412,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	652,350	1,394,938
非支配株主に係る四半期包括利益	13,954	17,602

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	四輪事業	デジタル プロダクツ 事業	コンシュー マープロダ クツ事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,922,540	1,704,981	272,965	4,900,487	691,276	5,591,764	—	5,591,764
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	39,331	—	—	39,331	122,613	161,944	△161,944	—
計	2,961,871	1,704,981	272,965	4,939,818	813,890	5,753,709	△161,944	5,591,764
セグメント利益 又は損失 (△)	926,393	744,600	104,970	1,775,963	△45,481	1,730,482	△593,744	1,136,737

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古バイク及び花きのオークション、医療関連事業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△593,744千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	四輪事業	デジタル プロダクツ 事業	コンシュー マープロダ クツ事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,067,651	2,008,665	3,392,390	8,468,707	799,703	9,268,410	—	9,268,410
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	30,244	—	—	30,244	99,253	129,497	△129,497	—
計	3,097,895	2,008,665	3,392,390	8,498,951	898,956	9,397,908	△129,497	9,268,410
セグメント利益 又は損失 (△)	1,044,439	1,105,483	309,456	2,459,379	△31,520	2,427,858	△619,006	1,808,852

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古バイク及び花きのオークション、医療関連事業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△619,006千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、ブランド品オークション等の事業規模拡大に伴いセグメントを変更しております。従来、ブランド品、中古バイク及び花きのオークション事業で構成されていた「その他情報流通事業」セグメントを廃止し、ブランド品オークション事業を新設の「コンシューマープロダクツ事業」セグメントに、中古バイク及び花きのオークション事業を従来の「その他」セグメントに集約しています。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第1四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違があります。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式としての新株発行)

当社は、2021年4月27日開催の取締役会において、下記のとおり、新株式の発行（以下「本新株発行」といいます。）を行うことについて決議いたしました。

1. 発行の概要

(1) 払込期日	2021年5月26日
(2) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式 50,000株
(3) 発行価額	1株につき1,325円
(4) 発行総額	66,250,000円
(5) 株式の割り当ての対象者及びその人数並びに割り当てる株式の数	取締役（監査等委員である取締役及びそれ以外の取締役のうち社外取締役である者を除く。）5名 15,000株 執行役員 11名 35,000株
(6) その他	本新株発行については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

2. 発行の目的及び理由

当社は、2020年2月21日開催の取締役会において、当社の取締役（監査等委員である取締役及びそれ以外の取締役のうち社外取締役である者を除きます。以下「対象取締役」といいます。）及び執行役員（以下「対象取締役等」と総称します。）に対して、当社の持続的な企業価値向上を図るインセンティブの付与及び株主価値の一層の共有を目的として、新たな報酬制度として、譲渡制限付株式報酬制度（以下「本制度」といいます。）を導入することを決議し、また、2020年3月27日開催の第12回定時株主総会において、本制度に基づき、譲渡制限付株式取得の出資財産とするための金銭報酬（以下「譲渡制限付株式報酬」といいます。）として、対象取締役に対して、年額80百万円以内の金銭報酬債権を支給すること及び譲渡制限付株式の譲渡制限期間として3年間から5年間までの間で当社の取締役会が定める期間とすること等につき、ご承認をいただいております。